卒業演習（日本史7）－Ⅰ

科目ナンバリング　SEM-413
選択必修　　2単位

小山　俊樹

1. 授業の概要（ねらい）

本授業では、日本の近代史・現代史に関わる史料の読解、および同時期を扱った学術論文、研究テーマの内容、基本史料などについて、受講者が発表を行う。また受講者は発表をうけた討論に参加する。

2. 授業の到達目標

歴史学習上の基本的知識を得るとともに、学術論文の書式を学び、文献・史料の探索や読解などの歴史学の基本的方法論を身につけること。さらに発表を通して、文献・史料のポイントを他者に説明できること。また先行研究をふまえて、自分なりの疑問や課題を発見し、将来的に論文を執筆するためのテーマを獲得すること。

3. 成績評価の方法および基準

担当した発表の内容を中心とする。また授業内の討論への参加、発言・活動などの積極性や、レポート課題提出物などを重視する。

4. 教科書・参考文献

参考文献
吉田裕ほか編　岩波講座日本歴史（2014-15年版／第15-19巻　近現代1-5）　岩波書店
奥村弘ほか編　展望日本歴史（17-24巻）　東京堂出版

5. 準備学修の内容

授業時間での議論のため、時間外での自主学習に重点が置かれる。文献・史料の調査、論文の読解、研究史の整理などに、十分な準備を求めるものとする。そのために参考文献などを中心に、はばひろく文献を集めたり、新書（新書版の書籍）などを書店やMELICにて閲覧するなどして、自分の関心ある分野を見出すこと。学期初頭にむけては、発表を希望する文献を選定できていることが望ましい。

6. その他履修上の注意事項

受講生が主体となる授業なので、無断で欠席をしないこと。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス　授業内容や進行について、教員より説明する。（LMS上にて実施）
【第2回】　書籍発表と討論（日本近現代史にかかわる書籍を選択・紹介し、内容を議論する）（1）
【第3回】　書籍発表と討論（2）
【第4回】　書籍発表と討論（3）
【第5回】　書籍発表と討論（4）
【第6回】　書籍発表と討論（5）
【第7回】　書籍発表と討論（6）
【第8回】　書籍発表と討論（7）
【第9回】　選択論文発表と討論（各自が担当する論文を、教員の提示した文献等から選択し、内容を議論する）（1）
【第10回】　選択論文発表と討論（2）
【第11回】　選択論文発表と討論（3）
【第12回】　選択論文発表と討論（4）
【第13回】　選択論文発表と討論（5）
【第14回】　選択論文発表と討論（6）
【第15回】　選択論文発表と討論（7）